



# ほそが

Interior-HOSOI mail magazine  
Vol.23 made by G.Y.K

こんにちは。メルマガ23号は  
『洗い出しからの  
塩ビシート施工!』  
のご紹介です。

こんにちは。

気分はすっかり「メリークリスマス！！」ですね。

さて、今回のほそまがは「既存床が洗い出し仕様→長尺塩ビシート施工！」のご紹介です。

形成外科 / 皮膚科 / 内科 / 漢方内科 / 美容皮膚科 / 美容外科をされているクリニック様から、「洗い出し床だと、床に落ちた針やゴミが見えにくく、掃除も困難な為、見えやすくしてもらえないか？」とのご要望！

そこで、メンテナンスも簡単で、お掃除もしやすい長尺塩ビシートを施工いたしました。

今回は、施工の一部始終をご紹介いたします。

## 洗い出し床とは？

種石を入れたモルタルを塗り、表面が半ば乾燥してたら、表面のモルタルを弱い水で洗い流しながらブラシで洗い流し、種石を見せた左官仕上げのこと。

種石の種類や、仕様するモルタルの種類を変えることで、伝統的な雰囲気以外にも現代風の雰囲気も作ることができるのだとか！！

今回のお店の床には、右写真の洗い出し床が施工されていました。施術する空間となるとたしかに、針やホコリが見えづらいですね。。。



# 施工の流れのご紹介！

まず、長尺塩ビシートを貼る為に下地を作ります。  
今回は、床下地処理材にタジマのフラッターを使用しました。  
フラッターはセメントと水を混ぜたものです。洗い出しの目が深かったため、  
3回塗りをして床を平滑にしました。



そして、長尺塩ビシートを貼ると・・・



ジャン！もともと長尺塩ビシート仕様だったかのような仕上がりになりました！  
これでお掃除もお手入れもラクラクですね！



施術室。  
シートの柄もスッキリとした  
モルタル柄で、清潔感がありますね。

いかがでしたでしょうか？

洗い出し床の上から施工できる商材は、ビニル床タイル、ロールタイルカーペット、  
タイルカーペットなど、機能に合わせいろんな床材が施工可能です！  
ご興味ある方は是非参考にしてみてください！